

合併処理浄化槽設置で住み良いまちに

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111 内線327

自然にやさしい合併処理浄化槽

本市では、し尿及び生活雑排水を処理するための施設として下水道とともに『合併処理浄化槽』の設置を推進しています。合併処理浄化槽は生活排水の汚れ(BOD量)を10分の1に減らす優れた機能を持ち、自然にもやさしく、快適な生活にも役立ちます。



川や海を守るため、単独処理浄化槽並びに非水洗処理による雑排水の未処理放流をやめ、合併処理浄化槽を設置しましょう。

設置には一部費用の補助制度があります

合併処理浄化槽の設置には、設置費用の一部を補助する制度があります。対象となるのは、下水道区域(※1)を除く市内全域において専用住宅に『小型合併処理浄化槽』を設置する方です。ただし、次のいずれかに該当する方は対象となりません。

- 浄化槽法第5条第1項の規定による設置等の届出又は建築基準法第6条第1項の規定による建築物の建築等に関する確認を受けていない方
- 専用住宅を販売することを業とする方
- 専用住宅を借りている方で、小型合併処理浄化槽の設置について貸主の承諾を得ていない方。
- 国、県及び市並びにこれらに準じる公共的団体

合併処理浄化槽設置に対する補助金については、下記のとおりです。

	金額	備考
5人槽	332,000円	
6~7人槽	414,000円	
単独浄化槽の撤去	90,000円	単独浄化槽を撤去(※2)し、合併浄化槽を設置した場合に上乗せされる額

(※1)下水道法第4条第1項の認可を受けた事業計画に定められた予定処理区域。区域内外について不明の場合は、下水道課または市民生活課環境整備係までお問い合わせください。

◎下水道課 TEL72-1111 内線413

(※2)単独浄化槽の清掃、撤去工事、処分にかかる費用に対する補助で、撤去が伴わない場合は対象となりません。また、建築物の建て替えによる場合も対象となりません。

下水道接続で環境保全を

問合せ 下水道課管理係 TEL72-1111 内線412

下水道は、海や河川など公共水域の保全を図り、快適な生活環境を提供するための施設です。下水道供用区域内で、まだ下水道に接続していない家庭や事業所等は、早い時期に下水道へ接続するための水洗化工事をしていただき、環境保全にご協力ください。

水洗化工事や点検・洗浄等は排水設備指定工事店で

下水道へ接続するときの水洗化工事及び点検・洗浄等は、必ず指定工事店へ依頼してください。指定工事店以外の業者が水洗化工事をした場合は、不正工事になり、やり直すこととなります。

また、点検・洗浄を市外の訪問業者に依頼するときは、相手の身分証明書等を確認して、詳しく作業内容や金額を聞き、見積書もらい、納得してから契約をしてください。

枕崎市内指定工事店

名称	電話番号	名称	電話番号
㈱旭ガス	72-0001	㈱有園建設	72-9392
㈱有園水道工業	72-4129	㈱板敷組	76-2025
㈱井上工業	72-2749	㈱イマキイレ	72-3245
㈱今給黎建設	72-6111	㈱香建設	58-1078
コマキ住販	72-2539	㈱藤原商会	72-0361
白沢水道工事店	76-2133	㈱白松水道土木	72-8500
長野建設㈱	72-1345	㈱萩原工業所	72-6100
㈱平瀬	73-1120	枕崎水道工事店	72-1451
森建設㈱	72-1070		

下水道使用料を改定

平成23年1月検針の請求分から新料金へ改定されます。下水道新料金表は次のとおりです。

下水道使用料現行・改定比較表		(月額税込 単価：円)		
用途	種類	段階別排除汚水量	現行料金	改定料金
一般用	基本料金		451	500
		1㎡を超えて10㎡まで	63	77
	従量料金 ※1㎡当たりの単価	11㎡を超えて20㎡まで	109	133
		21㎡を超えて30㎡まで	136	166
		31㎡を超えて50㎡まで	163	199
		51㎡を超えて100㎡まで	171	209
		101㎡を超える場合	177	216

※公衆浴場用料金及び水質料金は現行どおりです。  
※一般用20㎡使用した場合、  
500円+10㎡×77円+10㎡×133円=2,600円となります。

市民の皆さまの快適な環境と豊かな自然を守る下水道事業を継続して運営していくために、ご理解とご協力をお願いします。

2011年 市長年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます  
平成二十三年(二〇一一年)がいい年でありませうように  
皆さまのご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

枕崎市長 神園 征



初夢に 故郷をみて 涙哉。(小林一茶)

新しい年の3月12日には九州新幹線が開業し、新大阪と鹿児島中央駅とが4時間足らずで結ばれます。東京―鹿児島間でさえ6時間数十分という近さになります。飛行機だったら、もっともっと近くになります。もちろん、時間的な距離のことを言っているのですが、私の20歳前後は、学生や新米の安月給取りがそうそう簡単に飛行機に乗れる時代ではなく、精々、当時の国鉄(今のJR)の特急「はやぶさ」か、急行「霧島」が鹿児島と京阪神を往來する交通手段で

した。西鹿児島駅(今の鹿児島中央駅)から東京まで約24時間から28時間以上を要していました。当然、往來の数は極めて限られ、故郷を出て何年間も帰郷していない例は珍しくなかったと思います。冒頭の俳句は江戸時代の俳人、小林一茶の作です。一茶の生年は私より180年も前です。彼は、15歳で故郷の信州から江戸へ奉公に出されています。初夢に故郷を見て涙する一茶の感傷がよくわかる気がします。

情は地域による特性があればこそ面白い日本があり、地域に残る者出し者にとつて「故郷」があると思うのです。しかし、最近地域の特性が失われ、画一化されつつあるように感じられるのは残念です。先に言う地域の魅力度を私たちがよく伝えてくれていた映画「寅さんシリーズ」が、名優、渥美清さんと共に失くなってしまったとき、私は「あまた一つよき日本が消えた」と思いました。私は山田洋次監督が描写する日本的な情と景がたまたまなく好きでしたから、皆さん、枕崎の魅力度を高め、枕崎出身者はもちろん、そうでない人の夢にもでてくるような「まち」を目指して頑張りましょう。